

令和2年度 国際会議の東京開催決定について

国際会議などMICE（※）の誘致・開催は、大きな経済波及効果が期待できることに加え、産業力の強化や都市のプレゼンス向上など、様々なメリットを生み出すことから、世界での誘致競争は激化しています。

東京都及び（公財）東京観光財団において、国内誘致団体と連携して実施してきた誘致活動が実を結び、令和2年度は下記3件の国際会議の東京開催が決定しましたのでお知らせいたします。

新型コロナウイルスの世界的流行により、国際会議の誘致・開催を取り巻く環境は急激に変化していますが、東京都では、引き続き国際会議開催都市としてのプレゼンス確立に向け、主催者に対し安全・安心な東京開催を支援してまいります。

（※）MICEとは、M:Meeting（企業系会議）、I:Incentive（企業の報奨・研修旅行）、C:Convention（国際会議）、E:Exhibition/Event（展示会・イベント等）の頭文字を取った総称です。

1 東京開催が決定した会議

- (1) ACTA 2021 TOKYO (7th Asian Conference on Tumor Ablation)
 - (2) 2022年 Clarity 国際会議
 - (3) APMP総会及び関連会議
- 会議の概要は別紙をご参照ください。

2 東京都の支援内容

知事レターの発出、立候補書類の作成、会場借上費等の資金助成（予定）、開催時の都内観光ツアー等の提供など

◎安全・安心なMICE開催に向けて

（公財）東京観光財団では、MICE主催者向けに、感染症の専門家の監修に基づき、具体的な対策事項を掲載した「東京MICE開催のための安全・安心ガイドライン」の策定や、コロナ禍における最新情報の提供など、主催者が安心してMICEを開催できるよう様々な支援を行っております。詳しくは下記HPをご覧ください。

https://businessseventstokyo.org/ja/safe_events_in_tokyo/



別紙 令和2年度に東京開催が決定した会議

(1) ACTA 2021 TOKYO (7th Asian Conference on Tumor Ablation)

会期：2021年10月15日～17日（3日間）

参加人数（予定）：約1,000名

会長：椎名秀一郎（順天堂大学大学院医学研究科 消化器画像診断・治療学 教授）

主催：Asian Society of Tumor Ablation（国際団体本部所在地：韓国・ソウル）

概要：ラジオ波焼灼術（RFA）、マイクロ波焼灼術（MWA）、凍結療法

（cryoablation）等すべての種類のアブレーションの基礎研究や臨床応用に関する発表と議論がなされ、また、肝臓や肺、甲状腺、腎臓、骨、軟部組織等すべての領域のアブレーションに対する検討がなされる医学系学術会議。

アジアの各都市で毎年開催されており、日本での開催は2015年の福岡大会に続き2回目。

(2) 2022年 Clarity 国際会議

会期：2022年9月中旬（3日間）

参加人数（予定）：約500名

主催：Clarity International（国際団体本部所在地：アメリカ・ミシガン州）

URL：<http://www.clarity-international.org/>

概要：2024年にISO（国際標準化機構）が標準化を策定するプレインランゲージ（法律・ビジネス・教育・医療分野等）の円滑なコミュニケーションの推進と研究・取組成果を共有する国際会議。日本では初の開催。

(3) APMP総会及び関連会議

会期：2022年11月24日～12月2日（9日間）

参加人数（予定）：約400名

主催：Asia Pacific Metrology Programme（国際団体本部所在地：中国・北京）

URL：<http://www.apmpweb.org>

概要：アジア太平洋地域の計量標準の水準向上を目指し、計量に関わる専門家が最新の研究成果の発表や情報交換等を目的として毎年集まる。

アジアの各都市で過去36回開催。

※会期順に掲載しています。

※実際の会期、参加人数は変更の可能性があります。

